

5/19 木

ウィッシュマさん侮辱 梅村議員の暴言



梅村みづほ議員
18日 法務省

■梅村みづほ参院議員の発言を巡る経緯

12日 梅村みづほ参院議員（維新）が本会議の質問で、「昔かれと思つた支援者の一聲が、皮肉にもウィッシュマさんに房病になれば仮釈放してもらえるという淡い期待を抱かせ、医師から肺病の可能性を指摘される状況へとつながつたおそれも否定できない」「かえつて被容者にとって見なければよかつた夢、すがつてはいけないわらになる可能性もある」と発言。

16日 梅村議員が法務委員会質疑で、ウィッシュマさん遺族の代理人弁護士からの質問に対して、自身の発言が事実かどうかの問い合わせには「事実ではない。しかし、可能性は否定できない」と発言。「ハンガーストライキによって体調不良によって亡くなつたのかかもしれない」と述べる。

同日 法務委員会質疑で、日本共産党の仁比聯平議員が梅村議員について、「ウィッシュマさんご遺族の心情を改めて深く傷つけた」と批判。

同日 梅村議員が自身のツイッターで、支援団体からの抗議文に対して、「懲念を持って弁言した内容ですので、撤回と謝罪はいたしません」と投稿。

17日 維新の齊藤多恵政調会長は記者の囲み取材で梅村発言の経緯を問われ、「本会議での質問は当然、政調（会）が最終チェックを行っている」と党としての関与を認める。「入管法の支援者のかかわりについて改善点があつたのではないかということは、問題提起として間違つたことはしたと思っていない」と梅村発言を容認。

同日 ウィッシュマさんの遺族と代理人弁護士らが都内で記者会見を開き、梅村議員に対して、事実でない弁言で遺族を深く傷つけたと抗議。

「チエックした」維新の責任は明確

梅村みづほは、梅村庄臣（元参院議員）の質問によると、「本会議で、梅村議員は、入管法の支援者の細わりについて改めて確認があつた」として、「梅村議員は、(梅村)の処分等について、(梅村)の懲戒を改めて深くつけていた」と説明。弁護士や連絡係が、(梅村)の懲戒を改めて深くつけていたと述べるのみで、(梅村)は、「(梅村)に懲戒する理由など語りでござりません」と回答。その後、「(梅村)は(梅村)の懲戒を改めて深くつけていた」と繰り返しました。

梅村の発言についても、梅村議員は、「(梅村)は(梅村)の懲戒を改めて深くつけていた」と繰り返しました。

梅村みづほは、「(梅村)は(梅村)の懲戒を改めて深くつけていた」と繰り返しました。

梅村みづほは、「(梅村)は(梅村)の懲戒を改めて深くつけていた」と繰り返しました。

日本維新の会の梅村みづほ議員による、入管施設でのウィッシュマ・サンダマリさんの死亡をめぐる発言に厳しい批判の声が広がっています。発言の撤回と謝罪とともに、維新の責任ある対応が求められます。（鶴田徹、中根寅一、森系信）



記者会見する(左から)梅村みづほ議員、元参院議員

死者の尊厳・遺族の心情踏みにじる

維新誤り認めぬのか

維新議員が古い人権侵害

体験を語ります

を示すものです。

維新議員が古い人権侵害

「事実ない」認めつつ固執・開き直り

梅村庄臣は、(梅村)は(梅村)の法

入管法の支援者の細わり

について改めて確認

して、「(梅村)は(梅村)の

懲戒を改めて深くつけていた」と説明。弁護士や連絡係が、(梅村)の懲戒を改めて深くつけていたと述べるのみで、(梅村)は、「(梅村)に懲戒する理由など語りでござりません」と回答。その後、「(梅村)は(梅村)の懲戒を改めて深くつけていた」と繰り返しました。

梅村みづほは、「(梅村)は(梅村)の

懲戒を改めて深くつけていた」と繰り

めました。

梅村みづほは、「(梅村)は(梅村)の

懲戒を改めて深くつけていた」と説明。弁護士や連絡係が、(梅村)の懲戒を改めて深くつけていたと述べるのみで、(梅村)は、「(梅村)に懲戒する理由など語りでござりません」と回答。その後、「(梅村)は(梅村)の懲戒を改めて深くつけていた」と繰り返しました。

梅村みづほは、「(梅村)は(梅村)の

懲戒を改めて深くつけていた」と繰り

めました。

梅村みづほは、「(梅村)は(梅村)の

懲戒を改めて深くつけていた」と繰り

レ
ターレ

テレビで加者の声を伝えました。その無根のデマを繰り返します。
知った人は同じ日本参院の「こんな発言」が参院本会議の壇上でも
少數でしょう。入管施設でスリランカ人のウィシュマ・サンダマリさんが死亡した事件について、「日本維新的会」の梅村みほ参院議員が国会で事実に反する発言を重ねていることです。なぜなら「スマヤーコーク」のニュー
スほじ放送していないからです。

国会で事実に反する発言を重ねていることです。なぜなら「スマヤーコーク」のニュー
スほじ放送していないからです。
こんな発言だったのか、記憶とともに必要があります。

「支援者の一言が、病気に負の歴史があります。
特高警察が取り締まるという報道を、戦前の制度を、戦後も形だけ
変わらず継いできたところ

難民認定を2回
審査したり

維新議員 資質問う報道を

のは、維
新の音書
多駿政調

強制送還で輸出外国人の命を危険にさらす。「入管法改悪案」が参議院で審議入りした12日、印象的だった番組は「news 23」(TBS系)です。

なれば依頼放しておられる会長が、梅村氏の質問原稿が
いう淡い期待を抱かせ、医師から訴病の可能性を指摘され
ることを認め、「支援者の関与する状況くつながった恐れもないに対する問題提起だ。間違つた」としたとは思っていません。

16日の参院法務委員会で、「い」と擁護している。こ

は、支援者への暴言の根拠わば同罪です。同党の反腹生
首相官邸周辺から記者が「政となる「事実はない」と言い
府が提出した「入管法改正ながら反対ではなく、「ハンガ
案」に対する人々がたゞさーストライキによって「く
ん集まっています」とテモ参
なったかもしねない」と事実

(小川浩)